

編集後記

歴史学の第一歩は、史料の蒐集にある。次に、厳密な考証によって素材を分析し、さらに、それを理論化することにより学問として成立する。この三段階を経ざるものは、学問の名に値しない。

これを具体的に示さんがため、史料紹介・研究ノート・論説の三部に分ち、逆順に編んだのが本誌である。その論考等に、とやかく解説を加える必要はあるまい。読者の熟読を乞うのみ。

投稿の諸氏とも、斯道における篤学の士であつて、大分の学問・文化の発展に寄与すること大なるものと確信する。

読者諸氏、第一〇一号の編集子の意図を了せられたい。

(伊藤記)

昭和五十六年三月二十日 印刷
昭和五十六年三月三十日 発行

大分県地方史 第一〇二号

編集者 伊藤 勇 人

発行者 渡 辺 澄 夫

印刷者 中 尾 芳 郎

別府市中央町九一―五

印刷所 日の丸印刷株式会社

(電話 ②〇三四一)

発行所

〒八七〇一一 大分市且ノ原七〇〇

大分大学教育学部国史研究室内

大分県地方史研究会

(振替・下関五二九四番)